



IAMAP '93 科学プログラム決まる

去る8月にウィーンで開催された IAMAP 総会の決定を受けて、IAMAP '93 実行委員会では学術委員会(委員長:新田勅)を設けてローカルコンビーナなどの検討を進めてきましたが、この度16のシンポジウムについて以下のように決定しました。(但し、シンポジウムのタイトルは今後のコンビーナとの調整によって若干変更されることがあります)

IAMAP-IAHS Joint Symposia

- J1. Global Monitoring and Advanced Observing Techniques in the Atmosphere and Hydro-sphere
ローカルコンビーナ:青木 忠生(気象研)
- J2. The Interactions of Snow Cover with Climate and Ecosystems
ローカルコンビーナ:大畑 哲夫(名大水圏研)
- J3. Process Understanding of Atmosphere/Land Interaction
ローカルコンビーナ:佐藤 信夫(気象庁)
- J4. Precipitation
ローカルコンビーナ:藤吉 康志(名大水圏研)
- J5. Processes of Mass and Energy Exchange between the Atmosphere and Polar surfaces
ローカルコンビーナ:山崎 孝治(気象研)

IAMAP-IAPSO Symposia

6. Atmosphere/Ocean Interaction
ローカルコンビーナ:山形 俊男(東大理)
7. Global Climate Models
ローカルコンビーナ:住 明正(東大気候センター)

IAMAP-IAGA Symposium

8. Middle Atmosphere
ローカルコンビーナ:宮原 三郎(九大理)

IAMAP-WMO Symposium

9. Monsoons and Tropical Cyclones
ローカルコンビーナ:新田 勅(気象大)

IAMAP Symposia

10. Dynamics of Large Scale Flow
ローカルコンビーナ:余田 成男(京大理)
11. Mesoscale Meteorology, Observing Systems, Analysis and Forecasting
ローカルコンビーナ:高橋 勲(九大理)
12. Middle Atmosphere Aerosols and Mt. Pinatubo
ローカルコンビーナ:岩坂 泰信(名大STE研)
13. The Interactional Global Atmosphere Chemistry Project
ローカルコンビーナ:小川 利紘(東大理)
14. Atmospheric Electricity
ローカルコンビーナ:中江 茂(東理大理)
15. Stratosphere-Troposphere Interactions with the Biosphere
ローカルコンビーナ:田中 浩(名大水圏研)
16. Recent Advances in the Mars and Venus Atmospheric Research
ローカルコンビーナ:松井 孝典(東大理)

上記 J1 から J5 までのシンポジウムについては、IAHS(国際水文科学協会)からもローカルコンビーナが指名されることになっています。これらの方々は今後国際協会・機関からのコンビーナと協力して、シンポジウムの企画や調整に当たることとなります。

IAMAP の執行体制 (1991~1995年)

8月のIAMAP総会ではまた執行部の交替も行なわれ、IAMAP '93の期間を含む今後4年間の執行体制が以下のように決定しました。

会 長: Prof. B.J. Hoskins (英国)
副 会 長: Prof. K. Labitzke (ドイツ)
Prof. P.V. Hobbs (米 国)

事務局長：Prof. M. Kuhn (オーストリア)

執行委員：Dr. G. Ohring (米国)

Dr. X. Zhou (中国)

Prof. T. Matsuno (日本)

Dr. M.L. Chanin (フランス)

Dr. A.A. Chernikov (ソ連)

専門委員会会長：

国際大気化学・地球規模汚染委員会 (ICACGP)

Prof. H. Rhode (スウェーデン)

国際大気電気委員会 (ICAE)

Dr. L.H. Ruhnke (米国)

国際気候委員会 (ICCL)

Prof. A. Berger (ベルギー)

国際雲物理学委員会 (ICCP)

Prof. P.V. Hobbs (米国)

国際気象力学委員会 (ICDM)

Prof. P. Taylor (カナダ)

国際高層気象学委員会 (ICUMA)

Prof. R.A. Vincent (オーストラリア)

国際惑星大気と進化委員会 (ICPAE)

Prof. S. Atreya (米国)

国際極気象学委員会 (ICPM)

Dr. I. Allison (オーストラリア)

国際オゾン委員会 (IOC)

Prof. G.J. Magie (フランス)

国際放射委員会 (IRC)

Prof. J. Lenoble (フランス)

(村上 勝人)

サーキュラーの発行

IAMAP-IAHS '93 合同会議のプレ・サーキュラーが12月に発行され、サーキュラーも1月に発行されます。プレ・サーキュラーでは合同会議でフルペーパーからなる論文集を発行する以下の2つの IAMAP/IAHS 合同シンポジウム、4つの IAHS シンポジウムの論文募集がなされています。

J3.1 Exchange processes at the land surface for a range of space and time scales (H.J.Bolle)

J4.2 Extreme hydrological events: precipitation, floods and droughts (Z.W.Kundzewicz)

H1 Macroscale modelling of the hydrosphere (W.B.Wilkinson)

H2 Environmental tracers in hydrology (N.E.Peters)

H3 Hydrology of warm humid regions (J.S.Gladwell)

H4 Sediment problems (R.Hadley)

いづれもカッコ内のコンピーナーへの300-400字からなるアブストラクトの締め切りは1992年2月29日です。J3のローカルコンピーナーは佐藤信夫(気象庁), J4は藤吉康志(名大水圏研)の両氏です。

なおその他のシンポジウムの締め切りは1992年12月頃の前定です。詳しくはプレ・サーキュラー、サーキュラーを、氏名(ふりがな)と連絡先の住所・電話・ファックスを明記の上、下記までご請求ください。

〒100 東京都千代田区大手町 1-7-2

サンケイコンベンション内

IAMAP '93 事務局

Phone (03) 3273-2084

Fax (03) 3279-6287

(鬼頭昭雄)